

対象校No. 661

注4

学校コード F117310105488

注3

設置年度

令和

5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2

北陸大学 医療保健学部 理学療法学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人北陸大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

企画部

職名・氏名

ジチュウ フクムサスタカ
次長・福村靖貴

電話番号

076-229-1161 (内線: 5697)

(夜間)

076-229-1161 (代表)

e-mail

kikaku@hokuriku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

医療保健学部

＜理学療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人北陸大学

(2) 大 学 名 北陸大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1180
石川県金沢市太陽が丘 1 丁目 1 番地

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オグラ ツトム) 小 倉 勤 (平成25年 1 月)		
学 長	(オグラ ツトム) 小 倉 勤 (平成25年 1 月)	(コチ ヤスオ) 東 風 安 生 (令和 6 年 4 月)	任期満了により変更 (6)
学 部 長	(ユノ トモジ) 油 野 友 二 (令和 3 年 4 月)		
学科長等	(ダイクヤ シンイチ) 大 工 谷 新 一 (令和 5 年 4 月)		

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和 5 年度に報告済の内容 → (5)
令和 6 年度に報告する内容 → (6)
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療保健学部 理学療法学科 学士(理学療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	60人 () []	人 () []	60人 () []	人 () []	—	1.05倍	- 倍	
志願者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	142 () []	— () []	148 () []	— () []	—			
受験者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	139 () []	— () []	146 () []	— () []	—			
合格者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	132 () []	— () []	136 () []	— () []	—			
B 入学者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	62 () []	— () []	67 () []	— () []	—			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		1.03		1.11		—			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
学 年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	70 [－] (3)	－ [－] (－)		
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	57 [－] (－)	－ [－] (－)		
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	127 [－] (3)	－ [－] (－)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	62 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	0 人	進路変更(1)
令和6年度	127 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{62} = \boxed{1.61} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
一般 教養 科目	北陸大学の学び 生命・医療倫理学 スポーツⅠ スポーツⅡ 情報リテラシー データサイエンス 心理学 法学 哲学 社会学 コミュニケーション論 北陸の文化と社会 日本史 化学 生物学 数学 物理学 英語Ⅰ 英語Ⅱ 医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 教育学概論 教育方法論 小計(26科目)	1前	1									1	
		1前	1									1	
		1前		1									1
		1後		1								1	
		1前	1									1	
		1後		1								1	
		1後		2								1	
		1後		2								1	
		1後		2								1	
		1前		2								1	
		2後		2								1	
		2前		2								1	
		2後		2								1	
		1前		1								1	
		1前		1		1						1	
		1前		1		1						1	
		1前		1		1						1	
		1前	1									2	
		1後	1									2	
		3前		1		1	1						
		1前	1			4	2	4	2				
		1後	1			4	2	4	2				
		2前				1						1	
		2後				1						1	
		2前			2							1	
		2後			2							1	
		－	7	26	2	4	2	4	2	0	17		
専門 基礎 科目	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	解剖学Ⅰ	1前	2				1					
		解剖学Ⅱ	1前	2			1						
		解剖学実習	1後	1			1	1					
		生理学Ⅰ	1前	2			1						
		生理学Ⅱ	1後	2			1						
		生理学実習	2前	1			1	1					
		運動学	1後	2			1						
		運動学実習	2前	1					1	1			
		人間発達学	1後	2			1						
		小計(9科目)	－	15	0	0	3	1	1	1	0	0	
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	リハビリテーション医学	1後	2			1						
		整形外科学	2前	2			1						
		病理学	1後	2								1	
		臨床心理学	3前	2								1	
		精神医学	2後	2								1	
		内科学	2前	2								1	
		薬理学	3前	2								1	
		神経内科学	2前	2								1	
		栄養学	3後	1								1	
		小児科学	2後	2								2	
		画像診断学	3後	1								1	
		救急処置法	3後	1								1	
	小計(12科目)	－	21	0	0	1	0	0	0	0	11		
	保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	リハビリテーション概論	1前	2			1						
		医療統計学	3後	1								1	
		チーム医療論	3後	1								1	
地域包括ケアシステム論		3後	1								1		
小計(4科目)		－	5	0	0	1	0	0	0	0	3		

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
一般 教養 科目	北陸大学の学び	1前	1									1	
	生命・医療倫理学	1前	1									1	
	スポーツⅠ	1前		1								1	
	スポーツⅡ	1後		1								1	
	情報リテラシー	1前	1									1	
	データサイエンス	1後		1								1	
	心理学	1後		2								1	
	法学	1後		2								1	
	哲学	1後		2								1	
	社会学	1前		2								1	
	コミュニケーション論	2後		2								1	
	北陸の文化と社会	2前		2								1	
	日本史	2後		2								1	
	化学	1前		1								1	
	生物学	1前		1		1						1	
	数学	1前		1								1	
	物理学	1前		1								1	
	英語Ⅰ	1前	1									2	
	英語Ⅱ	1後	1									2	
	医療英語	3前		1			1	1					
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1				4	2	4	2			
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1				4	2	4	2			
	海外研修Ⅰ	2前				1						1	
	海外研修Ⅱ	2後				1						1	
	教育学概論	2前		2								1	
	教育方法論	2後		2								1	
小計(26科目)	－	7	26	2	4	2	4	2	0		17		
専門 基礎 科目	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	解剖学Ⅰ	1前	2				1					
		解剖学Ⅱ	1前	2				1					
		解剖学実習	1後	1				1	1				
		生理学Ⅰ	1前	2				1					
		生理学Ⅱ	1後	2				1					
		生理学実習	2前	1				1	1				
		運動学	1後	2				1					
		運動学実習	2前	1						1	1		
		人間発達学	1後	2				1					
		小計(9科目)	－	15	0	0	3	1	1	1	0		0
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	リハビリテーション医学	1後	2				1					
		整形外科学	2前	2				1					
		病理学	1後	2									1
		臨床心理学	3前	2									1
		精神医学	2後	2									1
		内科学	2前	2									1
		薬理学	3前	2									1
		神経内科学	2前	2									1
		栄養学	3後	1									1
		小児科学	2後	2									2
		画像診断学	3後	1									1
		救急救置法	3後	1									1
		小計(12科目)	－	21	0	0	1	0	0	0	0		11
	保 健 医 療 環 境 と リ ハ ビ リ テー シ ョ ン の 理 念	リハビリテーション概論	1前	2				1					
		医療統計学	3後	1									1
		チーム医療論	3後	1									1
		地域包括ケアシステム論	3後	1									1
		小計(4科目)	－	5	0	0	1	0	0	0	0		3

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎理学療法学	基礎理学療法学	理学療法学概論	1前	2			1						
		基礎理学療法学	1後	2					1		1		
		運動療法学	1後	2			1						
		運動療法学実習	2前	1			1		1				
		医療安全管理学	2前	1								1	
		小計(5科目)	一	8	0	0	1	0	2	0	1	1	
	法医学理学療法学	理学療法管理学	4後	2			1						
		小計(1科目)	一	2	0	0	1	0	0	0	0	0	
	理学療法評価学	理学療法評価学	1後	2				1					
		理学療法評価学実習Ⅰ	2前	1					1	1			
		理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					1	1			
		理学療法評価学演習Ⅰ	2後	1					1	1			
		理学療法評価学演習Ⅱ	3前	1					1	1			
		小計(5科目)	一	6	0	0	0	1	2	2	0	0	
	専門科目	理学療法治療学	物理療法学	2前	2					1			
物理療法学実習			2後	1					2				
義肢装具学			2後	2									1
義肢装具学演習			2後	1			1				1	1	
日常生活活動学演習			2前	1						1	1		
老年期障害理学療法学演習			2後	1					1		1		
運動器障害理学療法学			2後	2			1						
運動器障害理学療法学実習			3前	1			1		1				
神経障害理学療法学			2後	2			1						
神経障害理学療法学実習			3前	1			1		1				
内部障害理学療法学			2後	2				1					
内部障害理学療法学実習			3前	1				1		1			
発達障害理学療法学演習			3前	1			1				1		
予防理学療法学			3前		2				1				
先進技術と理学療法学		3前		2		2							
小計(15科目)	一	18	4	0	2	1	4	2	2	1			
地域理学療法学	地域理学療法学	3前	2					1					
	生活環境学	3後	1									1	
	地域理学療法学演習	3後		1				1		1			
小計(3科目)	一	3	1	0	0	0	1	0	1	1			
臨床実習	臨床基礎実習	1前	1			2	2	4	2	2			
	検査・測定実習	2後	2			2	2	4	2	2			
	臨床評価実習	3後	4			2	2	4	2	2			
	総合臨床実習Ⅰ	6	6			2	2	4	2	2			
	総合臨床実習Ⅱ	4前	6			2	2	4	2	2			
	地域理学療法学実習	4前	1			2	2	4	2	2			
	小計(6科目)	一	20	0	0	2	2	4	2	2	0		
	総合科目	理学療法学研究法	3後	1			4	2	4				
総合理学療法学演習Ⅰ		3後	1			1	1	1					
総合理学療法学演習Ⅱ		4後	2			1	1	2	2				
卒業研究		4通	2			4	2	4					
小計(4科目)		一	6	0	0	4	2	4	2	0	0		
発展科目	スポーツ科学	1前		2								1	
	アスレチックリハビリテーション概論	1後		2		1							
	運動神経生理学	2前		2								1	
	バイオメカニクス	3前		2								1	
	トレーニング論	3後		1								1	
	スポーツ障害理学療法学	2後		2		1							
	リハビリテーション工学	3前		2								1	
	東洋医学	1後		2								1	
	医用情報科学概論	2前		2								1	
	東洋医学治療学	2後		2								1	
	免疫・感染症学	3前		2								1	
	疾病予防と健康増進	3前		1		1							
	臨床薬学	3後		1								1	
	公衆衛生学	4後		1								1	
	臨床生理学	4後		2								1	
小計(15科目)	一	0	26	0	2	0	0	0	0	10			
合計(105科目)			-	111	57	2	4	2	4	2	2	39	
卒業要件及び履修方法													
【卒業要件】 一般教養科目 14単位以上(必修 7単位含む) 専門基礎科目 41単位 専門科目 73単位以上(必修63単位含む) 「予防理学療法学」又は「先進技術と理学療法学」からどちらか1科目2単位選択必修 合計 128単位以上													
【履修科目の登録の上限】 48単位(年間)													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	基礎 理 学 療 法 学	理学療法概論	1前	2			1							
		基礎理学療法学	1後	2					1		1			
		運動療法学	1後	2			1							
運動療法学実習		2前	1			1		1				1		
医療安全管理学		2前	1									1		
小計(5科目)		—	8	0	0	1	0	2	0	1	1			
	法 学 管 理 療 学	理学療法管理学	4後	2			1							
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0		
	理 学 療 法 評 価 学	理学療法評価学	1後	2				1						
		理学療法評価学実習Ⅰ	2前	1					1	1				
		理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					1	1				
		理学療法評価学演習Ⅰ	2後	1					1	1				
		理学療法評価学演習Ⅱ	3前	1					1	1				
		小計(5科目)	—	6	0	0	0	1	2	2	0	0		
		理 学 療 法 治 療 学	物理療法学	2前	2					1				
			物理療法学実習	2後	1					2				
			義肢装具学	2前	2									1
			義肢装具学演習	2後	1			1				1	1	
			日常生活活動学演習	2前	1						1	1		
			老年期障害理学療法演習	2後	1					1		1		
			運動器障害理学療法学	2後	2			1						
			運動器障害理学療法実習	3前	1			1		1				
			神経障害理学療法学	2後	2			1						
神経障害理学療法実習			3前	1			1		1					
内部障害理学療法学			2後	2				1						
内部障害理学療法実習			3前	1			1			1				
発達障害理学療法演習			3前	1			1				1			
予防理学療法学			3前		2				1					
先進技術と理学療法学			3前		2		2							
小計(15科目)	—	18	4	0	2	1	4	2	2	1				
	地 域 理 学 療 法 学	地域理学療法学	3前	2					1					
		生活環境学	3後	1									1	
		地域理学療法学演習	3後		1				1		1			
小計(3科目)	—	3	1	0	0	0	1	0	1	1				
	臨 床 実 習	臨床基礎実習	1前	1			2	2	4	2	2			
		検査・測定実習	2後	2			2	2	4	2	2			
		臨床評価実習	3後	4			2	2	4	2	2			
		総合臨床実習Ⅰ	3後→4前	6			2	2	4	2	2			
		総合臨床実習Ⅱ	4前	6			2	2	4	2	2			
		地域理学療法学実習	4前	1			2	2	4	2	2			
		小計(6科目)	—	20	0	0	2	2	4	2	2	0		
		総合科目	理学療法学研究法	3後	1			4	2	4				
総合理学療法学演習Ⅰ	3後	1			1	1	1							
総合理学療法学演習Ⅱ	4後	2			1	1	2	2						
卒業研究	4通	2			4	2	4							
小計(4科目)	—	6	0	0	4	2	4	2	0	0				
	発 展 科 目	スポーツ科学	1前		2								1	
		アスレチックリハビリテーション概論	1後		2		1							
		運動神経生理学	2前		2								1	
		バイオメカニクス	3前		2								1	
		トレーニング論	3後		2								1	
		スポーツ障害理学療法学	2後		1		1							
		リハビリテーション工学	3前		2								1	
		東洋医学	1後		2								1	
		医用情報科学概論	2前		2								1	
		東洋医学治療学	2後		2								1	
		免疫・感染症学	3前		2								1	
		疾病予防と健康増進	3前		1		1							
		臨床薬学	3後		1								1	
		公衆衛生学	4後		1								1	
		臨床生理学	4後		2								1	
小計(15科目)	—	0	26	0	2	0	0	0	0	10				
合計(105科目)			—	111	57	2	4	2	4	2	2	40		
卒業要件及び履修方法														
【卒業要件】 一般教養科目 14単位以上(必修7単位含む) 専門基礎科目 41単位 専門科目 73単位以上(必修63単位含む) 「予防理学療法学」又は「先進技術と理学療法学」からどちらか1科目2単位選択必修 合計 128単位以上														
【履修科目の登録の上限】 48単位(年間)														

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
一 般 教 養 科 目	北陸大学の学び 生命・医療倫理学 スポーツⅠ スポーツⅡ 情報リテラシー データサイエンス 心理学 法学 哲学 社会学 コミュニケーション論 北陸の文化と社会 日本史 化学 生物学 数学 物理学 英語Ⅰ 英語Ⅱ 医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 教育学概論 教育方法論 小計(26科目)	1前	1									兼1	
		1前	1									兼1	
		1前		1									兼1
		1後		1									兼1
		1前	1										兼1
		1後		1									兼1
		1後		2									兼1
		1後		2									兼1
		1後		2									兼1
		1前		2									兼1
		2後		2									兼1
		2前		2									兼1
		2後		2									兼1
		1前		1									兼1
		1前		1			1						兼1
		1前		1									兼1
		1前	1										兼2
		1後	1										兼2
		3前		1			1	1					
		1前	1				4	2	4	2			
		1後	1				4	2	4	2			
		2前				1							兼1
		2後				1							兼1
		2前			2								兼1
		2後			2								兼1
		7	26	2	4	2	4	2	0		兼16		
専 門 基 礎 科 目	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	1前	2				1						
		1前	2				1						
		1後	1				1	1					
		1前	2				1						
		1後	2				1						
		2前	1				1	1					
		1後	2				1						
		2前	1						1	1			
		1後	2				1						
		15	0	0	3	1	1	1	0	0			
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	1後	2				1						
		2前	2				1						
		1後	2									兼1	
		3前	2									兼1	
		2後	2									兼1	
		2前	2									兼1	
		3前	2									兼1	
		2前	2									兼1	
		3後	1									兼1	
		2後	2									兼2	
		3後	1									兼1	
		3後	1									兼1	
		21	0	0	1	0	0	0	0	兼11			
	保 健 医 療 機 関 の 理 ハ 念 シ ヨ ン の 理	1前	2				1						
		3後	1									兼1	
		3後	1									兼1	
3後		1									兼1		
5		0	0	1	0	0	0	0	兼3				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	基礎 理 学 療 法 学	理学療法概論	1前	2		1					
		基礎理学療法	1後	2				1		1	
		運動療法学	1後	2		1					
		運動療法学実習	2前	1		1		1			
		医療安全管理学	2前	1							兼1
		小計(5科目)	—	8	0	0	1	0	2	0	1
	法 理 学 療 法	理学療法管理学	4後	2		1					
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0
	理 学 療 法 評 価 学	理学療法評価学	1後	2			1	1			
		理学療法評価学実習Ⅰ	2前	1				1	1		
		理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1				1	1		
		理学療法評価学演習Ⅰ	2後	1				1	1		
		理学療法評価学演習Ⅱ	3前	1				1	1		
		小計(5科目)	—	6	0	0	0	1	3	2	0
	理 学 療 法 治 療 学	物理療法学	2前	2				1			
		物理療法学実習	2後	1				2			
		義肢装具学	2前	2							兼1
		義肢装具学演習	2後	1		1				1	兼1
		日常生活活動学演習	2前	1					1	1	
		老年期障害理学療法学演習	2後	1				1		1	
		運動器障害理学療法学	2後	2		1					
		運動器障害理学療法学実習	3前	1		1		1			
		神経障害理学療法学	2後	2		1					
		神経障害理学療法学実習	3前	1		1		1			
		内部障害理学療法学	2後	2			1				
		内部障害理学療法学実習	3前	1			1		1		
		発達障害理学療法学演習	3前	1		1				1	
		予防理学療法学	3前		2			1			
		先進技術と理学療法学	3前		2	2					
		小計(15科目)	—	18	4	0	2	1	4	2	2
	地 域 理 学 療 法 学	地域理学療法学	3前	2				1			
		生活環境学	3後	1							兼1
		地域理学療法学演習	3後		1			1		1	
		小計(3科目)	—	3	1	0	0	0	1	0	1
	臨 床 実 習	臨床基礎実習	1前	1			2	2	4	2	2
		検査・測定実習	2後	2			2	2	4	2	2
		臨床評価実習	3後	4			2	2	4	2	2
		総合臨床実習Ⅰ	3後～4前	6			2	2	4	2	2
		総合臨床実習Ⅱ	4前	6			2	2	4	2	2
		地域理学療法学実習	4前	1			2	2	4	2	2
		小計(6科目)	—	20	0	0	2	2	4	2	2
	総 合 科 目	理学療法学研究法	3後	1			4	2	4		
		総合理学療法学演習Ⅰ	3後	1			1	1	1		
		総合理学療法学演習Ⅱ	4後	2			1	1	2	2	
		卒業研究	4通	2			4	2	4		
		小計(4科目)	—	6	0	0	4	2	4	2	0
	発 展 科 目	スポーツ科学	1前	2							兼1
		アスレチックリハビリテーション概論	1後	2		1					
		運動神経生理学	2前	2							兼1
		バイオメカニクス	3前	2							兼1
		トレーニング論	3後	1							兼1
		スポーツ障害理学療法学	2後	2		1					
		リハビリテーション工学	3前	2							兼1
		東洋医学	1後	2							兼1
		医用情報科学概論	2前	2							兼1
		東洋医学治療学	2後	2							兼1
		免疫・感染症学	3前	2							兼1
		疾病予防と健康増進	3前	1		1					
		臨床薬学	3後	1							兼1
		公衆衛生学	4後	1							兼1
		臨床生理学	4後	2							兼1
		小計(15科目)	—	0	26	0	2	0	0	0	0
合計(105科目)			—	111	57	2	4	2	4	2	2
卒業要件及び履修方法											
【卒業要件】 一般教養科目 14単位以上(必修7単位含む) 専門基礎科目 41単位 専門科目 73単位以上(必修63単位含む) 「予防理学療法学」又は「先進技術と理学療法学」からどちらか1科目2単位選択必修 合計 128単位以上 【履修科目の登録の上限】 48単位(年間)											

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・「理学療法評価学」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

【令和6年度】

- ・「理学療法評価学」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
68 科目	35 科目	2 科目	105 科目	68 科目 [0]	35 科目 [0]	2 科目 [0]	105 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{105} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	小計及び合計の訂正 (5)				
	校 舎 敷 地	91,775.85㎡	㎡	㎡	91,775.85㎡					
	運動場用地	44,704.53㎡	㎡	㎡	44,704.53㎡					
	小 計	136,480.38 ㎡ 135,276.34 ㎡	㎡	㎡	136,480.38 ㎡ 135,276.34 ㎡					
	そ の 他	337,786.99㎡	㎡	㎡	337,786.99㎡					
	合 計	474,267.37 ㎡ 473,063.33 ㎡	㎡	㎡	474,267.37 ㎡ 473,063.33 ㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	62,975.96㎡ (62,975.96㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	62,975.96㎡ (62,975.96㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	太陽が丘キャンパス全体 (5) 大学全体				
	45室	42室	26室	5室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数							
	医療保健学部 理学療法学科		13 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点			
		1,090 [46] (913 [4])	5 [0] (5 [0])	- [-] (- [-])	76 (1)	1,142 (622)	- (-)			
	医療保健学部 理学療法学科									
	計	1,090 [46] (913 [4])	5 [0] (5 [0])	- [-] (- [-])	76 (1)	1,142 (622)	- (-)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,689.34 ㎡		635		250,000					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	6,456.86 ㎡		テニスコート3面（人工芝）		サッカー場2面（人工芝）					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費減額 (5)	
		教員 1 人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	3,850千円	834千円	600千円		
		共 同 研 究 費 等	15,100千円 18,000千円	15,100千円 18,000千円	設備購入費	229,905千円	33,800千円	1,000千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
		1,700千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	北 陸 大 学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
薬学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学科	6	60	-	360	-	0.58	-	-	平成18	-	
	6	60	-	360	学士(薬学)	0.58	-	-	平成18	石川県金沢市金川町ホ3番地	令和元年度から入学定員変更 (220→200) 令和2年度から入学定員変更 (200→160) 令和3年度から入学定員変更 (160→125) 令和4年度から入学定員変更 (125→105) 令和5年度から入学定員変更 (105→100) 令和6年度から入学定員変更 (100→60)
経済経営学部	4	250	3年次20	1040	-	0.77	-	-	平成20	-	
マネジメント学科	4	110	3年次10	460	学士(マネジメント学)	0.80	-	-	平成20	石川県金沢市太田が丘1丁目1番地	令和2年度から入学定員変更 (230→290) 令和3年度から編入学定員変更 (113→108) 令和4年度から入学定員変更 (290→305) 令和5年度から編入学定員変更 (108→103) 令和6年度から入学定員変更 (305→110) 令和6年度から編入学定員変更 (103→10)
経済学科	4	140	3年次10	580	学士(経済学)	0.51	-		令和6	同上	
国際コミュニケーション学部	4	120	3年次10	500		0.82	-	令和5	平成29	-	
国際コミュニケーション学科	4	60	3年次10	260	学士(文学)	0.80	-	-	平成29	同上	令和3年度から編入学定員変更 (20→40) 令和4年度から入学定員変更 (80→95) 令和5年度から編入学定員変更 (40→30) 令和6年度から入学定員変更 (95→60) 令和6年度から編入学定員変更 (30→10)
心理社会学科	4	60	-	240	学士(心理学)	0.88	-	令和5	令和3	同上	令和5年度から入学定員変更 (45→60)
医療保健学部	4	120	-	480		0.90	-	平成29		-	
医療技術学科	4	60	-	240	学士(医療技術学)	0.92	-	平成29		同上	令和3年度から入学定員変更 (60→65) 令和6年度から入学定員変更 (65→60)
理学療法学科	4	60	-	240	学士(理学療法学)	1.05	-	令和5		同上	
大学全体	-	550	3年次30	2380	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜医療保健学部 理学療法学科＞

(1)ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大工谷 新一 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動学 リハビリテーション概論 理学療法学概論 運動療法学 運動療法学実習 理学療法管理学 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学実習 先進技術と理学療法学※ 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 卒業研究 アスレチックリハビリテーション概論 スポーツ障害理学療法学
専	教授	染矢 富士子 (66) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 人間発達学 リハビリテーション医学 整形外科科学 理学療法学研究法 卒業研究 疾病予防と健康増進

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大工谷 新一 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動学 リハビリテーション概論 理学療法学概論 運動療法学 運動療法学実習 理学療法管理学 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学実習 先進技術と理学療法学※ 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 卒業研究 アスレチックリハビリテーション概論 スポーツ障害理学療法学
専	教授	染矢 富士子 (66) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 人間発達学 リハビリテーション医学 整形外科科学 理学療法学研究法 卒業研究 疾病予防と健康増進

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大工谷 新一 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動学 リハビリテーション概論 理学療法学概論 運動療法学 運動療法学実習 理学療法管理学 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学実習 先進技術と理学療法学※ 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 卒業研究 アスレチックリハビリテーション概論 スポーツ障害理学療法学
専	教授	染矢 富士子 (67) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 人間発達学 リハビリテーション医学 整形外科科学 理学療法学研究法 卒業研究 疾病予防と健康増進

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	少作 隆子 (66) ＜令和5年4月＞ 医学博士	専	教授	少作 隆子 (66) ＜令和5年4月＞ 医学博士	専	教授	少作 隆子 (67) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		生物学 医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法学研究法 卒業研究			生物学 医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法学研究法 卒業研究			生物学 医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法学研究法 卒業研究
専	教授	大畑 光司 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	専	教授	大畑 光司 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	専	教授	大畑 光司 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 義肢装具学演習※ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学実習 発達障害理学療法学演習 先進技術と理学療法学※ 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 義肢装具学演習※ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学実習 発達障害理学療法学演習 先進技術と理学療法学※ 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 義肢装具学演習※ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学実習 発達障害理学療法学演習 先進技術と理学療法学※ 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究
専	准教授	野口 雅弘 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)	専	准教授	野口 雅弘 (46) ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)	専	准教授	野口 雅弘 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 理学療法評価学 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 理学療法評価学 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 理学療法評価学 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	金澤 佑治 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究
専	講師	宮原 謙一郎 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法評価学演習Ⅱ 物理療法学 物理療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	金澤 佑治 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究
専	講師	宮原 謙一郎 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法評価学演習Ⅱ 物理療法学 物理療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	金澤 佑治 (38) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		医療英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究
専	講師	宮原 謙一郎 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法評価学演習Ⅱ 物理療法学 物理療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	岡山 裕美 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(保健医療学)	専	講師	岡山 裕美 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(保健医療学)	専	講師	岡山 裕美 (38) ＜令和5年4月＞ 博士(保健医療学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動療法学実習 運動器障害理学療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅱ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動療法学実習 運動器障害理学療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅱ 卒業研究 理学療法評価学			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動療法学実習 運動器障害理学療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	宮地 諒 (35) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)	専	講師	宮地 諒 (35) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)	専	講師	宮地 諒 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動学実習 基礎理学療法学 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学演習Ⅰ 物理療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動学実習 基礎理学療法学 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学演習Ⅰ 物理療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 卒業研究			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 運動学実習 基礎理学療法学 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学演習Ⅰ 物理療法学実習 臨床基礎実習 検査・測定実習 臨床評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域理学療法学実習 理学療法学研究法 総合理学療法学演習Ⅰ※ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	合田 明生 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)	専	講師	合田 明生 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)	専	講師	合田 明生 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)
		基礎ゼミナールⅠ			基礎ゼミナールⅠ			基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ
		老年期障害理学療法学演習			老年期障害理学療法学演習			老年期障害理学療法学演習
		神経障害理学療法学実習			神経障害理学療法学実習			神経障害理学療法学実習
		予防理学療法学			予防理学療法学			予防理学療法学
		地域理学療法学			地域理学療法学			地域理学療法学
		地域理学療法学演習			地域理学療法学演習			地域理学療法学演習
		臨床基礎実習			臨床基礎実習			臨床基礎実習
		検査・測定実習			検査・測定実習			検査・測定実習
		臨床評価実習			臨床評価実習			臨床評価実習
		総合臨床実習Ⅰ			総合臨床実習Ⅰ			総合臨床実習Ⅰ
		総合臨床実習Ⅱ			総合臨床実習Ⅱ			総合臨床実習Ⅱ
		地域理学療法学実習			地域理学療法学実習			地域理学療法学実習
		理学療法学研究法			理学療法学研究法			理学療法学研究法
		総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究			総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究			総合理学療法学演習Ⅱ※ 卒業研究
専	助教	西村 卓朗 (35) ＜令和6年4月＞ 修士(保健学)	専	助教	西村 卓朗 (35) ＜令和6年4月＞ 修士(保健学)	専	助教	西村 卓朗 (36) ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)
		基礎ゼミナールⅠ			基礎ゼミナールⅠ			基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ
		運動学実習			運動学実習			運動学実習
		理学療法評価学実習Ⅰ			理学療法評価学実習Ⅰ			理学療法評価学実習Ⅰ
		理学療法評価学演習Ⅰ			理学療法評価学演習Ⅰ			理学療法評価学演習Ⅰ
		日常生活活動学演習			日常生活活動学演習			日常生活活動学演習
		臨床基礎実習			臨床基礎実習			臨床基礎実習
		検査・測定実習			検査・測定実習			検査・測定実習
		臨床評価実習			臨床評価実習			臨床評価実習
		総合臨床実習Ⅰ			総合臨床実習Ⅰ			総合臨床実習Ⅰ
		総合臨床実習Ⅱ			総合臨床実習Ⅱ			総合臨床実習Ⅱ
		地域理学療法学実習			地域理学療法学実習			地域理学療法学実習
		総合理学療法学演習Ⅱ※			総合理学療法学演習Ⅱ※			総合理学療法学演習Ⅱ※
専	助教	武田 広道 (33) ＜令和6年4月＞ 修士(健康科学)	専	助教	武田 広道 (33) ＜令和6年4月＞ 修士(健康科学)	専	助教	武田 広道 (34) ＜令和6年4月＞ 博士(健康科学)
		基礎ゼミナールⅠ			基礎ゼミナールⅠ			基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ
		理学療法評価学実習Ⅱ			理学療法評価学実習Ⅱ			理学療法評価学実習Ⅱ
		理学療法評価学演習Ⅱ			理学療法評価学演習Ⅱ			理学療法評価学演習Ⅱ
		内部障害理学療法学実習			内部障害理学療法学実習			内部障害理学療法学実習
		臨床基礎実習			臨床基礎実習			臨床基礎実習
		検査・測定実習			検査・測定実習			検査・測定実習
		臨床評価実習			臨床評価実習			臨床評価実習
		総合臨床実習Ⅰ			総合臨床実習Ⅰ			総合臨床実習Ⅰ
		総合臨床実習Ⅱ			総合臨床実習Ⅱ			総合臨床実習Ⅱ
		地域理学療法学実習			地域理学療法学実習			地域理学療法学実習
		総合理学療法学演習Ⅱ※			総合理学療法学演習Ⅱ※			総合理学療法学演習Ⅱ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	板倉 栄一郎 (57) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		北陸大学の学び
兼任	教授	南谷 直利 (57) ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		スポーツⅠ バイオメカニクス
兼任	教授	越田 剛史 (62) ＜令和5年10月＞ 体育学士
		スポーツⅡ トレーニング論
兼任	教授	杉森 公一 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		情報リテラシー データサイエンス 教育方法論
兼任	教授	松本 和彦 (62) ＜令和5年10月＞ 法学修士
		法学 哲学
兼任	教授	福江 充 (59) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	教授	井上 裕子 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	胡 光輝 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	南谷 直利 (57) ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		スポーツⅠ バイオメカニクス
兼任	教授	杉森 公一 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		情報リテラシー データサイエンス 教育方法論 北陸大学の学び
兼任	教授	松本 和彦 (62) ＜令和5年10月＞ 法学修士
		哲学
兼任	教授	福江 充 (59) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	教授	井上 裕子 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	胡 光輝 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	南谷 直利 (58) ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		バイオメカニクス
兼任	教授	杉森 公一 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		情報リテラシー データサイエンス 教育方法論 北陸大学の学び
兼任	教授	松本 和彦 (63) ＜令和5年10月＞ 法学修士
		哲学
兼任	教授	福江 充 (60) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	教授	井上 裕子 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	横田 隆志 (49) ＜令和6年4月＞ Master of Arts Education
		海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	二ノ倉 欣久 (51) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		精神医学
兼任	教授	清水 慶久 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		医療統計学 免疫・感染症学
兼任	教授	油野 友二 (67) ＜令和7年10月＞ 修士(保健学)
		チーム医療論 臨床生理学
兼任	教授	劉 園英 (63) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		東洋医学 東洋医学治療学
兼任	教授	清水 芳行 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(総合政策)
		医用情報科学概論
兼任	准教授	關谷 暁子 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		生命・医療倫理学
兼任	准教授	相原 征代 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	二ノ倉 欣久 (51) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		精神医学
兼任	教授	清水 慶久 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		医療統計学 免疫・感染症学
兼任	教授	油野 友二 (67) ＜令和7年10月＞ 修士(保健学)
		チーム医療論 臨床生理学
兼任	教授	劉 園英 (63) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		東洋医学 東洋医学治療学
兼任	教授	清水 芳行 (48) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		医用情報科学概論
兼任	教授	中村 義治 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		数学
兼任	准教授	關谷 暁子 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		生命・医療倫理学
兼任	准教授	相原 征代 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	二ノ倉 欣久 (52) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		精神医学
兼任	教授	清水 慶久 (61) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		医療統計学 免疫・感染症学
兼任	教授	油野 友二 (68) ＜令和7年10月＞ 修士(保健学)
		チーム医療論 臨床生理学
兼任	教授	劉 園英 (64) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		東洋医学 東洋医学治療学
兼任	教授	清水 芳行 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		医用情報科学概論
兼任	教授	中村 義治 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		数学
兼任	教授	東風 安生 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		生命・医療倫理学
兼任	准教授	相原 征代 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	杉山 朋美 (50) ＜令和7年10月＞ 博士(薬学)
		栄養学
兼任	准教授	川端 健司 (37) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スポーツ科学 運動神経生理学
兼任	准教授	高野 克彦 (50) ＜令和7年10月＞ 博士(薬学)
		臨床薬学
兼任	講師	仲嶺 実甫子 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	佐藤 友紀 (45) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		薬理学
兼任	講師	服部 託夢 (41) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		リハビリテーション工学
兼任	講師	池田 啓一 (49) ＜令和8年10月＞ 博士(理学)
		公衆衛生学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	杉山 朋美 (50) ＜令和7年10月＞ 博士(薬学)
		栄養学
兼任	准教授	川端 健司 (37) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		運動神経生理学
兼任	准教授	高野 克彦 (50) ＜令和7年10月＞ 博士(薬学)
		臨床薬学
兼任	講師	仲嶺 実甫子 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		心理学 臨床心理学
兼任	准教授	佐藤 友紀 (45) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		薬理学
兼任	准教授	服部 託夢 (41) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		リハビリテーション工学
兼任	講師	池田 啓一 (49) ＜令和8年10月＞ 博士(理学)
		公衆衛生学
兼任	講師	佃 貴弘 (45) ＜令和5年9月＞ 博士(法学)
		法学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	杉山 朋美 (51) ＜令和7年10月＞ 博士(薬学)
		栄養学
兼任	准教授	川端 健司 (38) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スポーツ科学 運動神経生理学 スポーツ I
兼任	准教授	高野 克彦 (51) ＜令和7年10月＞ 博士(薬学)
		臨床薬学
兼任	講師	仲嶺 実甫子 (35) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		心理学 臨床心理学
兼任	准教授	佐藤 友紀 (46) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		薬理学
兼任	准教授	服部 託夢 (42) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		リハビリテーション工学
兼任	講師	池田 啓一 (50) ＜令和8年10月＞ 博士(理学)
		公衆衛生学
兼任	准教授	佃 貴弘 (46) ＜令和5年9月＞ 博士(法学)
		法学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	西浦 真喜子 (41) ＜令和6年10月＞ 修士(人間科学)※
		コミュニケーション論
兼任	講師	沖 倫子 (64) ＜令和5年4月＞ 理学士
		化学
兼任	講師	竹井 巖 (69) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		数学
兼任	講師	棒田 章夫 (67) ＜令和5年4月＞ 理学士
		物理学
兼任	講師	半井 典子 (59) ＜令和5年4月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	河内(横山) 真美 (41) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)※
		教育学概論
兼任	講師	井関 尚一 (73) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		病理学
兼任	講師	杉山 賢郎 (50) ＜令和6年4月＞ 学士(医学)
		内科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	西浦 真喜子 (41) ＜令和6年10月＞ 修士(人間科学)※
		コミュニケーション論
兼任	講師	沖 倫子 (64) ＜令和5年4月＞ 理学士
		化学
兼任	講師	棒田 章夫 (67) ＜令和5年4月＞ 理学士
		物理学
兼任	講師	河内(横山) 真美 (41) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)※
		教育学概論
兼任	講師	井関 尚一 (73) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		病理学
兼任	講師	杉山 賢郎 (50) ＜令和6年4月＞ 学士(医学)
		内科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	西浦 真喜子 (42) ＜令和6年10月＞ 修士(人間科学)※
		コミュニケーション論
兼任	講師	沖 倫子 (65) ＜令和5年4月＞ 理学士
		化学
兼任	講師	棒田 章夫 (68) ＜令和5年4月＞ 理学士
		物理学
兼任	講師	河内(横山) 真美 (42) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)※
		教育学概論
兼任	講師	井関 尚一 (74) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		病理学
兼任	講師	杉山 賢郎 (51) ＜令和6年4月＞ 学士(医学)
		内科学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉川 弘明 (63) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	井幕 充彦 (67) ＜令和6年10月＞ 医学博士
		小児科学※
兼任	講師	池野 観寿 (50) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		小児科学※
兼任	講師	宮地 利明 (62) ＜令和7年10月＞ 博士(工学)、博士(医学)
		画像診断学
兼任	講師	水野 哲志 (38) ＜令和7年10月＞ 学士(医学)
		救急処置法
兼任	講師	後藤 伸介 (57) ＜令和7年10月＞ 学士(教養)
		地域包括ケアシステム論
兼任	講師	岩田 章 (72) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		医療安全管理学
兼任	講師	山田 大樹 (44) ＜令和6年4月＞ 学士(経営学)
		義肢装具学 義肢装具学演習※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉川 弘明 (63) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	井幕 充彦 (67) ＜令和6年10月＞ 医学博士
		小児科学※
兼任	講師	池野 観寿 (50) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		小児科学※
兼任	講師	宮地 利明 (62) ＜令和7年10月＞ 博士(工学)、博士(医学)
		画像診断学
兼任	講師	水野 哲志 (38) ＜令和7年10月＞ 学士(医学)
		救急処置法
兼任	講師	後藤 伸介 (57) ＜令和7年10月＞ 学士(教養)
		地域包括ケアシステム論
兼任	講師	岩田 章 (72) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		医療安全管理学
兼任	講師	山田 大樹 (44) ＜令和6年4月＞ 学士(経営学)
		義肢装具学 義肢装具学演習※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉川 弘明 (64) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	井幕 充彦 (68) ＜令和6年10月＞ 医学博士
		小児科学※
兼任	講師	池野 観寿 (51) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		小児科学※
兼任	講師	宮地 利明 (63) ＜令和7年10月＞ 博士(工学)、博士(医学)
		画像診断学
兼任	講師	水野 哲志 (39) ＜令和7年10月＞ 学士(医学)
		救急処置法
兼任	講師	後藤 伸介 (58) ＜令和7年10月＞ 学士(教養)
		地域包括ケアシステム論
兼任	講師	
兼任	講師	山田 大樹 (45) ＜令和6年4月＞ 学士(経営学)
		義肢装具学 義肢装具学演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	寺田 佳世 (60) ＜令和7年10月＞ 修士(保健学)	兼任	講師	寺田 佳世 (60) ＜令和7年10月＞ 修士(保健学)	兼任	講師	寺田 佳世 (61) ＜令和7年10月＞ 修士(保健学)
		生活環境学			生活環境学			生活環境学
			兼任	講師	名取 雅航 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(アメリカ研究)※			
					英語Ⅰ 英語Ⅱ			
			兼任	講師	大日向 茂樹 (55) ＜令和5年9月＞ 体育学士	兼任	講師	大日向 茂樹 (56) ＜令和5年9月＞ 体育学士
					スポーツⅡ			スポーツⅡ
			兼任	講師	熊谷 史佳 (31) ＜令和5年4月＞ 修士(スポーツ科学)			
					スポーツ科学			
						兼任	講師	小池田 満 (68) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
								英語Ⅰ 英語Ⅱ
						兼任	講師	原田 哲也 (54) ＜令和6年4月＞ 学士(経済学)
								医療安全管理学

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授:」の授業科目名を記入するとともに、下段

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・岡山裕美講師の担当科目に「理学療法評価学」を追加。令和4年12月教員審査済。
- ・板倉栄一郎教授（兼任）の担当科目調整により、「北陸大学の学び」を杉森公一教授（兼任）に担当者変更。
- ・越田剛史教授（兼任）退職。「スポーツⅡ」は大日向茂樹講師（兼任）に担当者変更。「トレーニング論」は開講年度（令和7年度）までに担当者調整。
- ・松本和彦教授（兼任）の担当科目調整により、「法学」を佃貴弘講師（兼任）に担当者変更。
- ・清水芳行教授（兼任）の学位を、「修士（総合政策）」から「博士（経済学）」に変更。
- ・川端健司講師（兼任）の担当科目調整により、「スポーツ科学」を熊谷史佳（兼任）に担当者変更。
- ・佐藤友紀講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・服部託夢講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・竹井巖講師（兼任）の担当科目「数学」を中村義治教授（兼任）に担当者変更。
- ・半井典子講師（兼任）の担当科目調整により、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を名取雅航講師（兼任）に担当者変更。

【令和6年度】

- ・宮原謙一郎講師の学位を、「修士（医科学）」から「博士（医学）」に変更。
- ・西村卓朗助教の学位を、「修士（保健学）」から「博士（保健学）」に変更。
- ・武田広道助教の学位を、「修士（健康科学）」から「博士（健康科学）」に変更。
- ・岡山裕美講師の担当科目調整により、「理学療法評価学」を担当科目から削除。「理学療法評価学」は他の教員で担当するため支障はない。
- ・南谷直利教授（兼任）の担当科目調整により、「スポーツⅠ」を川端健司准教授（兼任）に担当者変更。
- ・胡光輝教授（兼任）退職。「海外研修Ⅰ」「海外研修Ⅱ」横田隆志教授（兼任）に担当者変更。
- ・關谷暁子准教授（兼任）の担当科目調整により、「生命・医療倫理学」を東風安生教授（兼任）に担当者変更。
- ・佃貴弘講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・岩田章講師（兼任）の担当科目「医療安全管理学」を原田哲也講師（兼任）に担当者変更。
- ・名取雅航講師（兼任）の担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を小池田満講師（兼任）に担当者変更。
- ・熊谷史佳講師（兼任）の担当科目「スポーツ科学」を川端健司准教授（兼任）に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **設可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
- ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	2	4	2	12	2	4	2	4	2	12	2
(4)	(1)	(3)	(0)	(8)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4	2	4	2	12	2	4	2	4	2	12	2
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{12} = \boxed{16.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{12} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	・完成年度における法人全体の教育活動収支差額がマイナスとなっていることから、既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に着実に取り組むこと。(北陸大学薬学部薬学科)	・定員未充足の改善への取り組みとして、令和6年度に経済経営学部経済学科(入学定員140人、3年次編入学定員10人)を開設予定であり、令和5年4月に届出を行った。また、既設学科においても同年度に以下のとおり入学定員を減員する予定である。 ・薬学部薬学科[定員減] 100人→60人(△40)(令和6年4月) ・経済経営学部マネジメント学科[定員減] 305人→110人(△195)(令和6年4月) ・経済経営学部マネジメント学科(3年次編入学定員)[定員減] 103人→20人(△83)(令和6年4月) ・経済経営学部マネジメント学科(3年次編入学定員)[定員減] 20人→10人(△10)(令和8年4月) ・国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科[定員減] 95人→60人(△35)(令和6年4月) ・国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科(3年次編入学定員)[定員減] 30人→10人(△20)(令和6年4月) ・医療保健学部医療技術学科[定員減] 65人→60人(△5)(令和6年4月) (5)	左記のとおり、学科の新設及び入学定員の見直しを行い、定員未充足の改善に努める。(5)
	【認可】 遵守事項	履行中	
		・薬学部薬学科については、令和6年度より、入学定員を100人から60人に減員したことにより、令和6年度入学充足率が1.00倍となった。 ・薬学部薬学科[定員減] 100人→60人(△40)(令和6年4月)(5)	薬学部薬学科の入学定員については、本学が位置する地域の特性等を総合的に判断し、平成28年度から漸次削減を図り、令和6年度には、60人とし入学定員を充足することができた。引き続き、教育改革及び学生確保に向けた取り組みを継続することで、年次進捗とともに収容定員の充足率改善に努める。(6)
		履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 北陸大学FD・SD委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 第1回（令和6年5月7日開催）
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 授業参観に関する事項
 - ・ 授業中間アンケートに関する事項
 - ・ 学修アンケート（授業評価アンケート）に関する事項
 - ・ FD・SD研修会に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

(1) FD・SD研修会

【大学全体FD・SD研修会】

- ・ 経済経営学部 経済学科について
講師：鈴木 大助教授（経済経営学部）、田尻 慎太郎教授（経済経営学部、情報・IR担当学長補佐）
日時：2023年8月30日（水）10：00～11：30
- ・ 大学募集環境の変化と高校生の進路行動変化について
講師：菊池 祐城 氏（㈱リクルート まなび進学情報Division地域活性営業部長）
日時：2023年9月6日（水）11：00～12：30
- ・ 大学生の読解力・国語力の低下と大学で求められる指導
講師：伊藤 氏貴 氏（明治大学文学部教授）
日時：2024年2月8日（木）10：30～12：00
- ・ 外部資金の獲得及び寄付金募集の取組み
講師：吉田 富士江 氏（大阪大学連携ファンドレイザー、㈱福笑楽美 代表）
日時：2024年3月13日（木）13：00～14：00

【IR室主催FD・SD研修会】

- ・ 「データ分析塾～アンケート作成・集計、データ分析手法の理解と実践～」
講師：田尻 慎太郎教授（経済経営学部、情報・IR担当学長補佐）
日時：2023年6月～2024年3月（全9回）

【学部FD・SD研修会】

◇薬学部

- ・薬学生に求められる社会人基礎力に関して
講師：羽柴 健 氏（㈱マイナビ・メディカル事業本部）
日時：2023年7月6日（木）17：15～18：55
- ・6年間の継続的な学力向上をカリキュラム2024で実現するため
ファシリテーター：武本 眞清准教授（薬学部）
日時：2024年2月13日（火）15：30～17：30

◇経済経営学部

- ・教育現場におけるChatGPTの活用について—大学はChatGPTとどう付き合う？
講師：和嶋 雄一郎 氏（名古屋大学 教育基盤連携本部／高等教育センター特任准教授）
日時：2023年7月4日（火）15：05～16：35
- ・協働による授業開発と多面的な学習評価の実現—経済経営学部におけるDPの達成
講師：杉森 公一教授（高等教育推進センター） 鈴木 大助教授（経済経営学部）
日時：2024年3月21日（木）13：00～14：30

◇国際コミュニケーション学部

- ・障害を持つ学生への合理的配慮
講師：河野 俊寛教授（国際コミュニケーション学部）
日時：2023年7月26日（水）16：20～17：50
- ・海外留学によるグローバル人材の育成～成長の可視化について考える
講師：野吾 教行 氏（学校法人河合塾 教育研究開発本部 教育研究開発部）
日時：2023年9月22日（金）15：00～17：10

◇医療保健学部

- ・医療技術学科の養成課程とその目的
—臨床工学技士・臨床検査技師養成の指針と臨地・臨床実習の考え方を中心に—
講師：油野 友二教授、清水 芳行教授（医療保健学部）
日時：2023年5月10日（水）15：30～16：30
- ・理学療法学科の養成課程とその目的
—指定規則、養成施設ガイドラインと臨床実習の考え方を中心に—
講師：大工谷 新一教授（医療保健学部）
日時：2023年7月5日（水）15：30～16：30
- ・理学療法学科DPルーブリック作成ワークショップ
講師：杉森 公一教授（北陸大学高等教育推進センター長）
日時：①2024年2月14日（水）15：45～16：15
②2024年2月22日（木）9：30～11：00

◇国際交流センター

- ・「書くこと」の授業実践
講師：大谷 鉄平講師（国際交流センター）
日時：2023年9月14日（木）10：00～12：00
- ・ピアサポート×自律学習支援の試み
講師：梅本 佳子講師（留学生別科）
日時：2023年10月25日（水）13：20～14：50
- ・翻訳コースの展開と問題点
講師：盧 冬麗講師（国際交流センター）
日時：2023年11月29日（水）13：10～14：50
- ・日中通訳講義について
講師：徐 二紅講師（国際交流センター）
日時：2024年1月17日（水）15：05～16：35
- ・実践と研究をつなぐ
講師：横田 隆志准教授（国際交流センター）
日時：2024年2月13日（火）11：00～12：30

(2) 授業参観

前期・後期に授業公開週間を定め、期間中に全教職員が1科目以上の授業を参観する。

参観者は授業参観フォームにコメントを入力し、参観者の氏名は非公開としたうえで、全科目を対象として全てのコメントを公開している。

(3) 授業中間アンケート等

学生の理解度を把握するために授業中間アンケートの実施をすすめており、実施状況及び授業改善にどのように役立てたかについて、授業の自己点検報告書で確認している。

b 実施方法

(1) FD・SD研修会

【学内FD・SD研修会】

全教職員宛に実施案内をメール配信し、参加を促している。

各研修会では、事前に研修の「一般目標」「到達目標」を示し、参加者にはアンケートを実施し、目標達成度の自己評価を含めた参加報告を行っている。

【学外FD研修会】

北陸大学FD・SD研修会において、参加を推奨する研修会については、全教職員宛に案内もしくは委員を通じて、学部より参加者を募り、研修に係る経費補助を行っている。

(2) 授業参観

全教職員宛に、授業参観期間及び授業公開対象科目をメール配信にて通知している。

(3) 授業中間アンケート等

小テスト、ミニツツペーパー、アンケート等、科目担当者に実施方法は任せており、実施状況と授業改善にどのように役立てたかを授業の自己点検報告書で確認している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年度当初に北陸大学FD・SD委員会にて大学全体及び学部FD・SD研修会の年間スケジュールを計画している。業務に支障がある場合を除き、原則、全教職員が研修会に参加することとなっており、欠席者に対しては、録画視聴、資料配布等を行っている。また、他学部主催のFD研修会にも参加が可能となっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後の北陸大学FD・SD委員会で検証

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期（7月）、後期（1月）に全ての科目において、Web上で学修アンケート（授業評価アンケート）を実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は、教員及び学生に対してWeb上で公開予定である。学修アンケート（授業評価アンケート）の結果を受け、科目担当教員は、授業の自己点検報告書を作成し、報告書については学内公開予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に基づき、計画を履行している。開設2年目（令和6年度）は、募集人員60人に対し67人が入学し、入学定員充足率は1.11倍であったことから、本学科が認知されたと考える。次年度以降も、パンフレットやホームページ、進学ガイダンス等の手段・機会を積極的に活用し、本学科の教育内容を受験生に十分伝え、学習意欲の高い入学生を迎えることで、教育・研究活動がさらに充実するよう務める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年10月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、適合の認定を受けた。
次回、令和10年度に受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。